

# 豊かな心を持ち、自他の大切さを認めることができる児童の育成～人権教育を通して～

- ①他の人の立場に立って、その人の必要なことや考え、気持ち等が分かるような想像力、共感的に理解する力の育成
- ②考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、的確に理解することができるために、伝え合い、分かり合うためのコミュニケーション能力の育成
- ③自分の要求を一方向的に主張するのではなく、互いに自分の考えを調整しながら、良好な人間関係を構築する力の育成

毎月第3水曜日に3部会をします。

## 授業づくり

「学びの質を高める授業づくり」5つのポイント

- 全員授業公開
- ※ A研ではなく、最低管理職(3名)が見に行き、あとは希望制
- 教科は特別活動・総合的な学習の時間以外
- ※ 基本は国語、算数、理科、社会、生活科
- ※ 新版「いのち」や部落差別学習など人権教育の授業など
- 基本、指導案は略案
- ※ 人権の視点に立って、検証軸の児童を決める。
- ※ 検証軸の児童にどうやって、力を付けるか、手立てを書く。
- ※ 関わり方や伸びが分かるようにする。
- CRTや北九学調、全国学調の結果などで検証

○基礎的・基本的な学習内容の定着・人権意識の醸成(補充学習の充実)

### 【人権・特支】(水補)

コグトレ  
子どもつながり

### (人権3部会)

特別支援教育部会

### 【人間関係】(木補)

エンカウンター  
ソーシャルスキル

### (人権3部会)

人権平和部会

### 【基礎・基本】(金朝)

100マス  
すらら・サポートS

### (人権3部会)

学力保障

## <アンケート>

- ①自分にはよいところがある。
- ②友達や周りの人のことを考えて行動できる。
- ③忘れずに自分の仕事をする事ができる。
- ④丁寧な言葉遣いができる。
- ⑤自分の気持ちを相手に正しく伝えることができる。
- ⑥相手の気持ちを考えながら話を聞くことができる。
- ⑦授業で自分の考えをもつことができる。
- ⑧授業で分かったと思えることがある。
- ⑨どんなことでもあきらめずに取り組むことができる。
- ⑩自分で考えて、よりよい行動ができる。

## 葛原小学校の子どもたちの課題

- 人権感覚の低さ。 ○自尊感情(セルフエスティーム)が低い。 ○低学力。
- コミュニケーション能力の低さ。

## <児童の実態>

1. 人権意識：相手の気持ちを考えた行動が難しい。他者の思いや意見を聞き取る力が低い。正しい言葉遣いができない。(意味も分からず、ゲームの言葉を使う)集団として、自分の役割や仕事に気付き、実行する力が低い
2. 言葉(表現)：丁寧な言葉遣いができない。自分の気持ちを上手に伝えることができない。言葉の受け止め方や伝え方が自分本位になりがち。相手の話や気持ちを理解できない。
3. 学力：基礎・基本が定着していない。(各学年で身に付けられる内容が身に付いていない)文章を書く力が低い。応用力がない。自分の考えをまとめることが難しい。
4. 意欲・主体性：課題や問題に対して、粘り強く取り組めない。忍耐力がない。自分で考えず、周りに流される。自律していない。

○ 主題授業研予定

学年	日 程
1 年	9 月上旬
2 年	11 月中旬
3 年	10 月中旬(国語：すがたをかえる大豆)
4 年	10 月中旬～11 月上旬(算数：面積の求め方)
5 年	10 月下旬～11 月上旬(専科)
6 年	9 月
のびのび・ゆうゆう	9 月下旬
専科	適宜